

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	福祉課管理係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）64-6500】		
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 3節 <input type="checkbox"/> 4項	<input type="text" value="(4) 生きがづくり"/>	

業務の名称	高齢者生涯学習講座		
(1) 根拠法令・条例			
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>20</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>100</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>200</u> 人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>1,462</u> 千円 (平成20年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率(補助金がある 場合のみ記載)	_____ % (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	平成15年度	終了(予定)年度 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的(達成目標)	高齢者の生きがづくりと社会参加の促進
②業務が対象とする住民(地域、層)	町内在住の60歳以上の高齢者
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	各種講座を開催し、生きがづくりと交流を促進し、高齢者の社会的孤立感や老後の不安の解消を目指す。 初心者向けに楽しく受講できる講座を31講座、年4回広報で募集。 定員は10名から20名(定員を超えた場合は抽選) 自己負担は受講料として1回200円と材料費実費

申込数が定員を超え、抽選になる講座もある。

【業務結果の説明指標】

結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
1	生涯学習講座	28	28	28	31	32
2	生涯学習講座延べ回数	215	196	196	251	
3	受講者延べ人数	2,172	2,117	2,117	3,443	
4						
5						

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

現状ニーズに即した新講座の検討。
募集案内の方法。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
アンケートによる講座の選定を行った。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	1点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	1点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.3点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) ④ 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	高齢者の関心の高い講座の開設
②改善時期	毎年度
③改善方法	アンケート調査や世間の解説講座の情報による